

氏名 山 下 裕

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 1667 号

学 位 授 与 の 日 付 昭和61年 6 月30日

学 位 授 与 の 要 件 博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）

学 位 論 文 題 目 EFFECT OF LYMPHOTOXIN-LIKE SUBSTANCE  
(OH-1) ON METASTATIC TUMOR PROLIFERATION  
( 転移性腫瘍増殖に対するリンフォトキシン様物質 (OH-1)  
の 効 果 )

論 文 審 査 委 員 教授 寺本 滋 教授 木村郁郎 教授 赤木忠厚

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ヒト急性リンパ性白血病由来BALL-1細胞より抽出したlymphotoxin-like substance (OH-1)の転移性腫瘍増殖に対する効果を、BDF<sub>1</sub> マウスに移植したLewis肺癌を用いて検討した。対照薬剤として、mitomycin-C, cyclophosphamide, adriamycinを使用した。転移巣への効果は、転移結節数の比較でも、また転移巣の<sup>3</sup>H-thymidine 標識率での検討でも、cyclophosphamideに十分匹敵する著しいものであった。生存期間の検討では、対照薬剤が、emaciation の為に延命効果を示し得なかったのに対し、OH-1は、有意に生存期間を延長させた。宿主の免疫能（NK活性, concomitant immunity）への影響をみても、対照薬剤が、著しく負の効果を示したのに対し、OH-1は、悪影響を与えることはなかった。直接細胞障害性からの検討では、OH-1は、主にcytostaticに作用し、G<sub>1</sub>, G<sub>2</sub>両期にcell progression delayを起こした。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はヒト急性リンパ性白血病由来BALL-1細胞より抽出したリンフォトキシン様物質(OH-1)の転移性腫瘍増殖に対する効果を対照薬剤を用いて検討したものである。マウスに移植したLewis肺癌転移巣に対するOH-1の効果、生存期間、免疫能、細胞障害性に関して重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。